

# り災証明申請書

記入例

浜松

市長

令和〇年〇〇月〇〇日

申請者 (世帯主)	住所 〇〇市〇〇町〇丁目〇番〇号	電話番号	000-000-0000
	(現在の連絡先) 同上	電話番号	同上
	(ふりがな) 氏名	〇〇〇 〇〇〇 〇〇 〇〇	

窓口に 来られた方 (申請者と 同じ場合は 記入不要)	住所 〇〇市〇〇町△丁目△番△号	電話番号	000-000-0000
	(ふりがな) 氏名	〇〇〇 〇〇〇 〇〇 〇〇	申請者との関係 子

り災原因	令和〇年 〇月 〇日の 台風第〇号 による
------	-----------------------

被災住家 <sup>※</sup> の 所在地 (申請者住所と 同じ場合は 記入不要)	
---	--

※住家とは、現実に居住(世帯が生活の本拠として日常的に使用していることをいう。)のために使用している建物のことをいいます(被災者生活再建支援金や災害救助法による住宅の応急修理等の対象となる住家)。

住家の被害	<input type="checkbox"/> 浸水被害 ( <input type="checkbox"/> 床上 <input type="checkbox"/> 床下 ) <input checked="" type="checkbox"/> その他被害(以下に記入)
	がけ崩れにより土砂と雨水が玄関に流入した

写真添付	<input checked="" type="checkbox"/> あり (自己判定方式を希望する場合は必須) <input type="checkbox"/> なし (現地調査を希望)
------	---

自己判定方式	<input checked="" type="checkbox"/> 希望する(写真を添付または提示)
	※「全壊、大規模半壊、中規模半壊、半壊、準半壊、準半壊に至らない(一部損壊)」の6つの被害区分のうち、「準半壊に至らない(一部損壊)」(損害割合が10%未満)の被害結果として、自ら合意できる場合のみ <input checked="" type="checkbox"/> を記入してください。 ※写真等から被害程度が判断できない場合、現地調査を行うことがあります。

(裏面あり)

